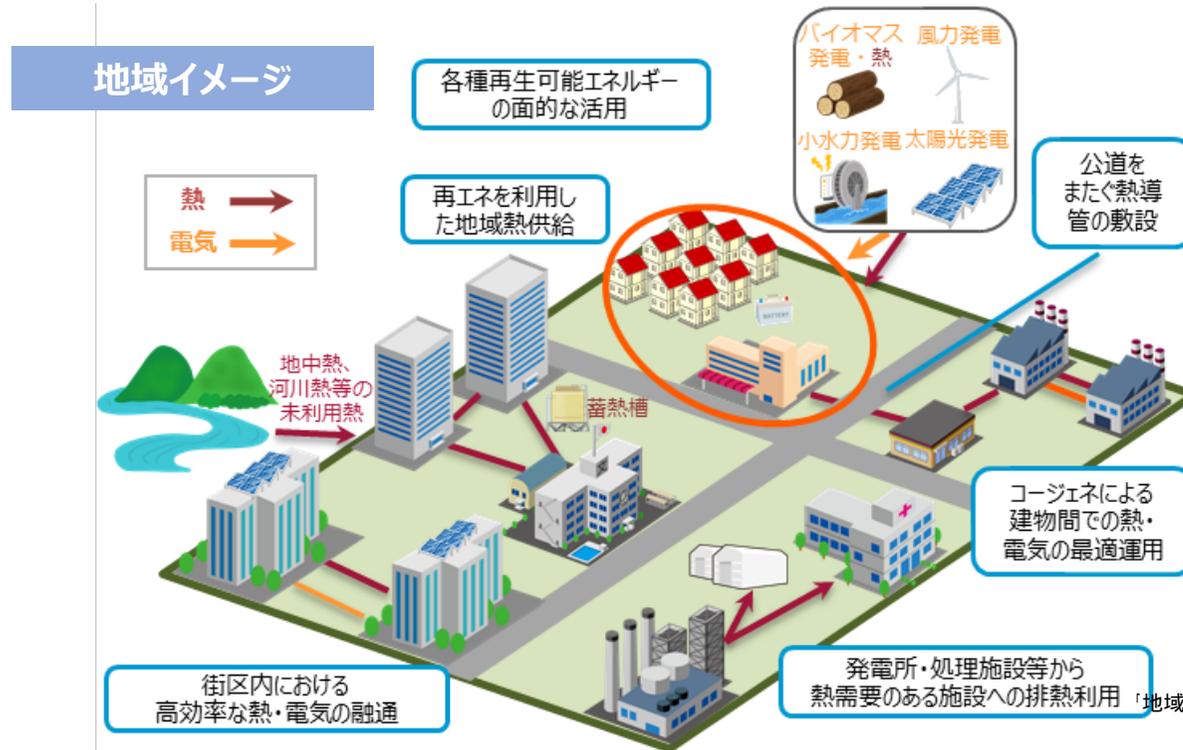


# 地域における需給一体的な再エネ電源の活用

- 地域での需給一体的な地域再エネの活用は、省エネルギーはもちろん、地域のレジリエンス向上（防災）、地域振興の観点からも有効
- 自営線を活用した地産地消モデルは上記観点において有効である一方、自営線敷設コストや工事の大規模化が課題
- 自治体や地域におけるエネルギー供給事業者をプレーヤーを中心とし、地域の再エネを、コージェネなど他の分散型エネルギーリソースと組み合わせ、経済的な地域エネルギーシステムとして需給一体的に利用できるシステムを構築することが重要。再エネを地域レベルで需給一体的に活用しやすくするための仕組みの在り方を検討しているところ。



- 地域の**再生可能エネルギー**と蓄電池やコジェネ等の**調整力**、**系統線**を活用して電力を面的に利用する新たなエネルギーシステム
- 平時から**再エネ電源を有効活用**しつつ、災害等による大規模停電時には周辺系統から独立したグリッドにおいて**自立的に電力供給可能**な、新たなエネルギーシステムのモデル構築を目指す
- 地域産業活性化や地域資金循環といった**地域振興**と電力BCP対策の両方に期待できる

